ねりま 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター
vol.100

今月の紹介団体

２面
ドレミ文庫
大野 光子（おおの みつこ）さん

３面
Nef Jumping
天野　なおこ（あまの なおこ）さん

練馬つながるフェスタ in 大泉 を開催します!!

9月28日(日) 13時～15時
練馬区立勤労福祉会館
集会室・会議室等（東大泉5-40-36）

「練馬つながるフェスタ（つなフェス）」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の日頃の取り組みを「見て・聞いて！知って！」たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。練馬つながるフェスタ in 大泉では、ワークショップ・物品販売などを行いますので、ぜひ、会場へお越しください。
詳しい内容は練馬区公式ホームページをご覧ください。

詳細はこちら➡

専用アプリの Uni-Voice を使用して右のコードを読み取ると記事の情報を音声で読み上げます。

音声コード

子どもたちに笑顔と温もりを届ける布の絵本

ドレミ文庫

代表の大野 光子さん（前列左から3人目）とメンバーの皆さん

小竹図書館で30年以上にわたり、布の絵本を制作・寄贈している団体「ドレミ文庫」。図書館が開催する「布の絵本作り方講習会」をきっかけに、裁縫やものづくりが好きな人たちが集まり、月2回の活動を続けています。現在のメンバーは14名で、長く活動を続けている人も多く、製作の場はいつも和やかな雰囲気です。

布の絵本は、もともと視覚・聴覚・情緒・知能などに障害のある子どもたちのために作られたのが始まりです。フェルトやファスナー、ボタンなどの素材が使われ、見て・触って・遊びながら楽しめる仕掛けが特徴で、紙の絵本とは違った魅力があります。

活動日には互いの進捗状況を確認し、製作上の困りごとなどを相談し合ったりしています

絵本づくりは、まず原作となる絵本を選ぶところから始まります。出版社や著者に著作権の許可を得た上でいよいよ製作開始です。ページごとに担当を決め、1冊の本を全員で作り上げていきます。台紙を切ったり、糸や布を縫い付けたりといった作業を行い、自宅での作業を含め、完成までには2～3か月かかるそうです。

原作の世界を忠実に再現するため、色や細部にまでこだわる工程には多くの苦労があるといいます。

「何種類もの布や糸を並べて、どれが1番原作に近いのかを何度も話し合うこともあります。イメージと違う場合には、作業のやり直しをすることもあるんですよ」と語るのは、代表の大野さん。

子どもたちが遊んでパーツがなくなったり壊れたりすることもしばしば。絵本の修復も大切な役目です

メンバーの皆さんは、「自分たちのイメージ通りに、絵本が立体的な作品として完成した時には大きな達成感があります」「ただ作るだけでなく、貸し出されて多くの子どもたちに遊んでもらえることが何よりうれしい」と笑顔で話してくれました。

そうして完成した絵本には布ならではの柔らかさと温もりが感じられます。

今後はオリジナル作品にも意欲的に挑戦していくほか、介護施設などへの利用拡大も目指しているそうです。

ドレミ文庫がこれまでに手がけてきた布の絵本は100冊以上。その多くは小竹図書館で借りることができます。訪れた際には、ぜひ手に取って、その魅力を体感してみてください。

■ **ドレミ文庫**
代表：大野 光子
TEL：03-5995-1121（小竹図書館）

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■東急株式会社「東急子ども応援プログラム」
【助成対象】子どもを取り巻く社会課題の解決を目指し、子どもたちの幸せを支える地域の活動
【助成金額】1件あたりの上限額：100万円
【応募期限】2025年9月15日
【関連URL】https://kodomo.tokyu.co.jp/program/
【問い合わせ】東急株式会社 東急子ども応援プログラム事務局
Email：kodomo@tkk.tokyu.co.jp

■ソーシャル・ジャスティス基金「第14回助成公募」
【助成対象】「ネット／SNSにかかる社会的公正・人権の問題」に取り組むアドボカシー活動、「見逃されがちだが、大切な問題に対する取り組み」を対象としたアドボカシー活動
【助成金額】1件あたりの上限額：100万円
【応募期限】2025年9月18日
【関連URL】https://socialjustice.jp/p/2025fund/
【問い合わせ】認定NPO法人まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)　Email：info@socialjustice.jp

音声コード

お芝居の先にある変化を、多くの人に届けたい
Nef Jumping

代表の天野なおこさん（右から２人目）とメンバーの皆さん

2023年に結成された演劇ユニット「Nef Jumping(ネフ・ジャンピング)」は、演劇を通じてさまざまな人を楽しませ、社会性を育む活動を行っています。

代表の天野さんは、芸能界で約20年にわたり演技指導を行ってきた経験の持ち主です。東京都の事業で引きこもりの若者を対象とした演劇ワークショップに携わったことをきっかけに、「練馬区でも同じような活動をしたい」と思い、Nef Jumpingを立ち上げました。

現在は月2回、大泉学園地区区民館でのレッスンを中心に、社会福祉施設への訪問や地域イベントでのワークショップなど、地域に根差した取り組みを続けています。

レッスンの様子。小学生を中心に上は87才まで幅広い年代の13名のメンバーが活動中

活動のモットーは「とにかくお芝居を楽しむこと」。日々の活動では、記憶力や瞬発力を使った遊びを多く取り入れ、現場はいつも笑いが絶えません。かつてワークショップに参加していた若者たちも、今では心強い仲間として団体を支えています。メンバーからは、「いろんな人と関われて、コミュニケーション能力が上がった気がします」「演劇がやりたい人、楽しいから来ている人、みんなの居場所になっていると思います」との感想が寄せられました。

チームごとに同じ台本を違うシチュエーションで演じた大泉学園小学校でのワークショップ。演出や小道具などには、子どもたちのアイデアが詰まっていました

今年は、初の試みとして大泉学園小学校の3年生を対象に、全7回の演劇授業を実施し、校内発表会も行いました。天野さんは「1人ひとりが大切な存在だと感じてもらえるよう、“その他大勢”の役は作らないこと、セリフは相手の言い方で変わるから、相手を見る・話を聞くことが大切であることを伝えました」と語ります。授業中には児童からも積極的な提案があり、コミュニケーションにも良い変化が生まれたそうです。

「同じ志を持つ演技指導者を育てながら、練馬から全国へ活動を広げていきたい」と、天野さんは前向きな思いを語ってくれました。Nef Jumpingでは、経験を問わず、演者やボランティアスタッフを募集しています。興味のある方は、ぜひ一度見学に行ってみてはいかがでしょうか。

■Nef Jumping
代　表：天野 なおこ
メール：nef3588＠gmail.com

公益財団法人 大和証券財団　※「ボランティア活動助成」と「子ども支援活動助成」の同時応募は不可

■「ボランティア活動助成」
【助成対象】5名以上で活動する非営利団体が行う以下の活動
1.高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
2.地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動
【助成金額】1件あたりの上限額：30万円
【応募期限】2025年9月15日

■「子ども支援活動助成」
【助成対象】20名以上で活動する非営利団体が行う以下の活動
1.子どもの居場所づくり活動（環境改善）
2.子どもの学習支援活動
3.貧困家庭の子ども支援活動（貧困の連鎖の防止）
4.育児放棄や子どもの虐待防止活動
【助成金額】1件あたりの上限額：50万円
【応募期限】2025年9月15日

【関連URL】https://www.daiwa-grp.jp/dsz/grant/
【問い合わせ】公益財団法人 大和証券財団 事務局　〒104-0031　中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル
TEL：03-5555-4640　FAX：03-5202-2014　E-mail：zaidan@daiwa.co.jp

音声コード

つながるカレッジねりま

スキルアップ講座の聴講生を募集します

つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。

【定　員】20名（先着順）
【申込み】①講座名 ②氏名 ③電話 ④住所 ⑤メールアドレスを、９月25日（木）までにポータルサイト（https://www.collegenerima.jp）・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ

「地域活動に役立つ！ SNSの基本と伝わる発信のコツ」

【日時】 9月30日（火） 10時～12時
【場所】 練馬区役所本庁舎19階 1905会議室
（練馬区豊玉北6-12-1）

地域活動を広げるためのSNS活用法を学びませんか？
InstagramやXなど、SNSごとの特徴や基本的な使い方に加えて、情報発信のコツや、スマホで魅力的な写真を撮るポイントなどもお伝えします。SNSが不安な方でも安心して取り組める、地域活動のための実践的な内容です。※スマートフォンやパソコンの基本操作、動画の作成・編集には触れません。

【講師】 山本 和泉（ウェブデザイナー）

【問い合わせ】地域文化部協働推進課カレッジ担当係　TEL：03-5984-1613　E-mail：kyodosuishin04@city.nerima.tokyo.jp

練馬区社会福祉協議会
令和８年度（令和７年度申請・令和８年度配分）助成事業説明会

練馬区社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動募金を原資として、社会福祉事業活動に対して助成を行っています。

【日　時】 ①2025年9月11日（木） 14時～15時30分　申込締切：9月 8日（月）
②2025年9月24日（水） 10時～11時30分　申込締切：9月19日（金）
※両日とも説明内容は同じです。

【場　所】 ①練馬区役所本庁舎20階　交流会場
②区民・産業プラザCoconeri 3階　研修室2

【内　容】 助成事業の概要、申請方法・申請書の書き方、参加団体交流、個別相談

初めて申請される団体や2年以内に当助成金の配分決定を受けていない団体は、原則として説明会にご参加ください。

【申込み・問い合わせ】 社会福祉法人練馬区社会福祉協議会　助成事業担当　TEL：03-3992-5600
E-mail：haibun@neri-shakyo.com　ホームページ：https://www.neri-shakyo.com

練馬区立区民協働交流センター（つながる窓口）

区民協働交流センター（つながる窓口）では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】
① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。

練馬1-17-1ココネリ3階　TEL：03-6757-2025　年中無休　9時～22時（12/29～1/3は休業）
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

facebook
https://www.facebook.com/Nerimakyodokoryucenter/
練馬区立区民協働交流センター　フェイスブック　検索

X（旧twitter）
https://twitter.com/kyodo_nerima
練馬区立区民協働交流センター　エックス　検索

ホームページ
※過去の地域活動ニュースも掲載中
http://www.nerima-kyodo.com/
練馬区立区民協働交流センター　検索

音声コード

★音声でお読みいただけます
「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一歩の会にお申し込みください。　**ＮＰＯ法人点訳・音声訳集団一歩の会　練馬区高松 2-16-12　TEL：03-3577-5666**